

平野昭さんと 【系譜で読み解くクラシック音楽】



講師

音楽評論家
桐朋学園大学特任教授
静岡文化芸術大学名誉教授

平野昭 Akira Hirano

【ハイブリッド】

丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。
今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

シューベルトで読み解くドイツ・ロマン主義音楽史

シューベルトはベートーヴェンと同時代に生き、もうひとつの音楽宇宙を築いた作曲家です。31年という短い生涯に1000曲もの作品を残し、分野は歌曲、オペラ、教会音楽、室内楽、交響曲、ピアノ曲にわたります。シューベルトの作品は「芸術歌曲(リート)」の系譜の源流となり、これがベートーヴェン《第九》を起点とする交響曲の流れと合流し、クラシック系譜においてきわめて重要なドイツ・ロマン主義の頂点をなしました。2028年の没後200年に向け、いままさに再評価が進むシューベルト。「歌曲王」の枠を超え、ロマン主義の原点として、皆さんとじっくり深耕したいと思います。

平野昭

5・13 | ±
9:30-12:30

時代を画した
シューベルトのリート

1

モーツァルト、ベートーヴェンにもリート(ドイツ語歌曲)の傑作はありましたが、シューベルトは先人巨匠たちとは本質的に異なる表現で新しい芸術表現分野を生みだしました。その系譜はシューマン、ブラームス、マーラーへと連なります。歌曲王シューベルトの原点、歌曲(リートとバラード)の魅力を再確認・再発見しましょう。

6・24 | ±
9:30-12:30

ロマン派
ピアノ音楽の開花

4

ベートーヴェンと同時代のウィーンで、シューベルトによって生まれたピアノ音楽は奇跡といえましょう。《4つの即興曲》《3つの小品》《楽興の時》はロマン派ピアノ性格小品の完成度の高い先駆作品です。最後の3曲のピアノ・ソナタはベートーヴェンとは全く別世界の宇宙を切り開いています。シューベルトを通じてロマン派のピアノ音楽にせまりましょう。

5・27 | ±
9:30-12:30

不朽の名作、
連作歌曲集の原点

2

当時ドイツの詩は声を出して朗読する芸術として創られ、親しまれていました。「不朽の名作」と評される《美しき水車屋の娘》《冬の旅》もその代表作で、ともに詩人ヴィルヘルム・ミュラー『旅するホルン吹き』の遺稿集』に収められた連続詩集でした。民衆的な音楽劇リーダー・シュピールとしての特質と楽しさを味わいましょう。

7・15 | ±
9:30-12:30

交響曲、
ロマン主義様式の傑作

5

1824年に完成・初演されたベートーヴェンの《第九》と同じころ、シューベルトは別の交響曲世界を探求していました。ベートーヴェン以後、交響曲の系譜はすべてベートーヴェンと関連付けられて論じられますが、《未完成交響曲》と《ザ・グレート》、シューベルトの2曲の交響曲は後世への影響以前にロマン主義様式の本質を先取りしていると言えます。初期作品含め、交響曲の系譜をじっくり読み解きましょう。

6・10 | ±
9:30-12:30

室内楽曲人気の秘訣、
変奏楽章

3

シューベルトには15曲の弦楽四重奏曲はじめ、たくさんの室内楽作品の傑作があり親しまれています。その人気作の多くには、自作の歌曲や劇音楽の主題を用いた変奏曲楽章が含まれている、というおもしろい特徴があります。ピアノ五重奏曲《鱒》、弦楽四重奏曲《ロザムンデ》と《死と乙女》など代表作からその魅力を探りましょう。

7・29 | ±
9:30-12:30

ミサ曲と宗教声楽作品、
合唱作品

6

シューベルトは敬虔な宗教音楽においても優れた才能を見せました。最初の音楽の師は生地の教区教会(現在シューベルト協会の愛称で知られるリヒテンタール教会)オルガニスト楽長のミハエル・ホルツァー。原点、生涯、そしてミサ曲、《サルヴェ・レジーナ(めでたし元后)》《スタバト・マーテル(悲しみの聖母は守む)》など代表的作品から、知られざるシューベルトに出会いましょう。

たくさん聴いて感じましょう

音楽を聴きながら作品や作曲家をご紹介します・解説していきます。どんな曲なのか、どんな特徴があるのか、ご自身で感じて味わい、さらに新たな聞き方や気づき方をもって、楽しみ方を広げましょう。

対話しながら進めます

よくわからない、もっと知りたい、こう感じた、皆さんの素直な感情の動きこそが豊かな鑑賞の一步です。皆さんの感想や疑問を大切に、対話しながら進めます。


講師プロフィール

平野 昭(ひらの あきら)

1949年横浜生まれ。武蔵野音楽大学大学院音楽学専攻修了。研究領域は西洋音楽史と音楽美学。古典派とロマン派音楽の様式研究を中心とし、特にベートーヴェン研究をライフワークとしている。尚美学園短大助教授、沖縄県立芸術大学教授、静岡文化芸術大学教授、慶應義塾大学教授を歴任、東京芸術大学、国立音楽大学、東京音楽大学等非常勤講師も勤める。

音楽評論活動では、毎日新聞、「音楽の友」「レコード芸術」レギュラー執筆。NHKのTVやFMクラシック番組等での解説者としても活躍。日本音楽学会・国際音楽学会・18世紀学会・三田芸術学会・三田哲学会各会員。日本ベートーヴェンクライス副代表。

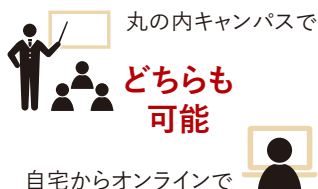
開催概要

日程	2023年 5/13、5/27、6/10、6/24、7/15、7/29(すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	9:30-12:30(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス、オンライン
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・クラシック音楽の奥深さに触れ、魅力を堪能したい方 ・クラシック音楽史や作曲家について研究し、より深く楽しみたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくごお願いいたします。

【ハイブリッド】



ハイブリッド開催とは

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoomを初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力を願います。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。